

明治大学 2019 年度【夏期】 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修先名	ペンシルベニア大学
所 属	商学部 商学科 2 年

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)

ペンシルベニア大学の授業では、ビジネスについてやリーダーシップについてを英語を使って勉強しました。授業内ではもちろん先生が英語を使って、授業を行い、またクラスメイトと英語を使って議論する時間も多くありました。特に授業開始から 1 週間は、先生の英語を聞き取るのに苦労したり、クラスメイトとのディスカッションでも自分の考えを英語で言うのに苦労したりと、自分の思い通りに行かないことも多くありました。しかし、時間の経過や、毎日の授業で間違えてでも少しずつ自分の考えを口にしていけることで、だんだんと英語を理解できるようになり、自分の考えも少しずつ言葉にできるようになりました。

課外活動等、授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)

課外活動ではワシントン DC に行ったり、メジャーリーグを見に行ったり、ニューヨークに旅行に行ったりと、3 週間という短い期間でしたが、とても内容の濃い時間を過ごすことができました。特にワシントン DC ではホワイトハウスを見たり様々な博物館に行き、アメリカの文化を感じることができました。また、アメリカの博物館はどこも入場料が無料で、アメリカが教育の国であることを実感しました。ほかにも寮で一緒だったほかの日本人学生と交流を深め刺激を受け、これからの学習に対する意欲が増しました。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250~300 字程度)

インターナショナルハウスフィラデルフィアという寮に滞在し、食事は自分たちで作るか、スーパーやコンビニで買うか、外食をするかでした。1 日の流れは、9 時からおよそ 4 時まで授業や課外活動があり、そのあとは街に出かけたり、夕食を食べたり、課題をしたりといったものでした。個人的にアメリカの生活でいいと感じたのは、アメリカ人のあいさつなどから伺えるフレンドリーな文化です。知らない人会ったときや、店で会計をするときに、あいさつの後に have a good day などと言って相手を思いやるのは日本ならまず無いことだと思うのでとても素晴らしい文化だと感じました。アメリカは基本的に物価が高く、3 週間の滞在でも金銭的に負担が大きかったので奨学金が非常に役立ちました。

今後の展望・目標について、留学前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)

この研修を通して、様々な刺激を受け、今後の英語学習や普段の勉強に対するモチベーションがとても上がったので、今まで以上に勉強に取り組みたいと思いました。また短期ではなくもっと長期で海外に身を置き語学であったり他の学問であったりを学びたいと強く思ったので、長期的な留学を今後したいと思いました。留学前は、なんとなく英語を話せたらいいなくらいに思っていたのですが、自分の言いたいことをうまく伝えられないもどかしさや、他の文化圏の人々と同じ言語で話す楽しさを知ることができたので、より自分の英語を高められるように努力していきたいです。

写真貼付 (1 枚)

※研修先で撮影した写真を 1 枚 (1MB 以内) ご提供ください。撮影場所・写真の説明も記載してください。

フィラデルフィアのダウンタウンで撮影した市庁です。
観光に行ったときに撮影したものです。



【注意事項】提出された留学報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします (学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。

【写真提供の注意事項】※ご提供いただいた写真は、大学の広報誌やウェブサイト、募集説明会の際利用するパワーポイント等、様々な媒体で広く広報に活用させていただく可能性があります。複数の方が写っている写真をご提供いただく場合には、写真撮影の際にその写真に写る方に本学への写真提供について許可を得ていただいたものをご提供ください。